

## 総 論

満点	80点	目標得点	60点	試験時間	90分	偏差値	71
大問数	5	小問数	59				
【解答形式】		選択式	53/59問	記述式	6/59問	論述式	0/59問
【問題難易度】		C	0/59問	B	21/59問	A	38/59問
※問題難易度：C 難問、B 可否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す							

## Topics

- 1：長文読解問題をベースに、文法・語法、英作文など、総合的に問うてくる。
- 2：問題の難易度は、MARCHの標準レベル程度といったところ。早稲田大学の中ではかなり易しいレベルと言える。悪問・奇問の類はない。
- 3：昨年に比べて簡単になった。内容説明の記述問題がなくなった。

## こんな力が求められる！

求められている力は、速読力と問題処理能力に尽きる。2000語以上の英文と約60題の問題を90分で「いかに正確に処理していくか」がポイントとなる。このような訓練を行うのに最適なのがセンター試験の問題である。センターの過去問演習を自分の学習プログラムに取り入れ（週に1, 2題はセンターの長文を解く、など）、夏休みまでにセンター過去問を8割5分以上は得点できることを目標にしたい。英文と問題のレベルは標準的なものであり、Advancedのテキストを習熟していれば、十分に合格圏に達することができる。基本的な語彙力・文法力・読解力をきちんと構築し、それをスムーズに運用できるようにすれば、8割近くの得点を叩き出すことは可能である。

## 参考図書

‘Time’, ‘Newsweek’などの時事・経済・文化などを取り扱っている雑誌  
 ‘The Japan Times’などの英字新聞

## 大問別分析

### 【I】

予想配点	17 / 80 点	時間配分の目安	15 / 90 分
出題内容	長文 [Word数] 676 語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』PART 1 『完熟』PART 2 [長文テーマ] 心に残る言葉 [長文内容] 筆者が留学していたときに掛けられた言葉により、勇気づけられたこと		
出題形式	強勢・同意語句・空欄補充（選択）・和文英訳・内容一致文完成		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す		
設問 1. B	設問 2. (1) A (2) A (3) A	設問 3. (1) B (2) A (3) A	
設問 4. A	設問 5. B	設問 6. (1) A (2) A (3) A (4) A (5) A (6) A	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連			
Advanced レベル。ただし、Standard レベルでもテキストを習熟していれば、十分に対応できる。			

#### ●解答のポイント&学習対策等

平凡なエッセイであるので、読解することは容易であろう。問題もこれと言って難しいものもない。設問 2 の同意語句は、一見したところ知識問題のようにも見えるが、文脈から正解を出すことができるので、仮に知らない表現であっても問題はない。設問 3 の空欄補充と設問 5 の和文英訳では、“consider O C”、“make O C”など「第 5 文型」の表現が問われている。設問 4 の空欄補充は、本文のキーワードとなるセリフを入れるので、読解力が試されている。設問 6 の「T-F」型の内容一致文完成は選択肢自体がシンプルなので、ある程度読解できていけば、間違えることはないであろう。

### 【II】

予想配点	18 / 80 点	時間配分の目安	15 / 90 分
出題内容	会話文 [Word数] 442 語 [『でか単』『完熟』レベル] 『でか単』『完熟』共に PART 2 [長文テーマ] 新入生とアドバイザーの会話 [長文内容] 学生生活と奨学金に関して、新入生がアドバイザーに相談している		
出題形式	空欄補充（選択）・同意語句・同意文・英文和訳		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す		
設問 1. (1) A (2) B (3) A (4) A (5) A			
設問 2. (イ) A (ロ) B (ハ) A (ニ) B (ホ) A	設問 3. B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連			
Advanced レベル。ただし、Standard レベルでもテキストを習熟していれば、十分に対応できる。			

#### ●解答のポイント&学習対策等

やや長めの会話文であるが、内容としてはそれほど難しくない。問題としては、設問 1 が選択肢が多いので、手こずることもあるかもしれないが、選択肢同士で迷うものはないので、消去法で正解を出すことができる。会話文での発言の空欄補充は、内容的対応と文法的対応をチェックすることがポイントとなるので、日ごろの学習から意識しておくとうい。設問 2 の同意語句は、(イ) know one's way around ~ : ~ に精通している、(ロ) spread oneself too thin : 一度に多くのことをやり過ぎる、という難しめのイディオムが知識問題として問われているようにみえるが、文脈から意味を推測することができるので、正解を出すことは可能であろう。設問 3 の英文和訳は、構文的には簡単であるが、take into account ~ : ~ を考慮に入れる、applicant : 志願者、応募者、などの表現がやや難しいかもしれないが、早稲田大学に合格するのであ

# Benesse® お茶の水ゼミナール

れば、知っていて当然のレベルである。設問3は配点が高いと思われるので、確実に点を取りたいところだ。

## 【Ⅲ】

<b>予想配点</b> 17 / 80 点	<b>時間配分の目安</b> 20 / 90 分
<b>出題内容</b> 長文 〔Word数〕390語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』共にPART2 〔長文テーマ〕文化 〔長文内容〕新興国への留学生がその土地の文化の理解を軽視してしまうこと	
<b>出題形式</b> 英問英答・空欄補充（選択）・空欄補充（記述）	
<b>小問別難易度</b> ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 設問1. (1)B (2)A (3)B (4)A (5)B 設問2. (A)B (B)A (C)B 設問3. (イ)A (ロ)A (ハ)B 設問4. (1)A (2)B	
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b> Advanced レベル	

### ●解答のポイント&学習対策等

英文のレベルとしてはやや高いが、論旨が明快なので内容を読み取ることはできるであろう。設問1の英問英答は、ミクロな視点とマクロな視点の両方から問われていて、読解力が試されている。(1)、(3)、(5)が正解できるかどうか、合否の分かれ目になるであろう。設問2の前置詞の空欄補充は、(A)の“with O C”の付帯状況を見抜けたかどうかのポイントとなる。前置詞が入る空欄の後に、‘the most popular field of study’という名詞があり、さらにその後に‘being’という分詞があることで‘with’を導き出せるであろう。設問3の名詞の空欄補充は、選択肢の名詞の意味を知っていることは当然として、(イ)であれば‘such as’、(ハ)であれば‘on’といったように、空欄の前後にヒントとなる表現があるので、確実に正解したいところだ。設問4は、読解問題の中に文法問題を上手く融合させた問題であり、アプローチとしては、①文法的に節を形作るもの（接続詞／関係詞／疑問詞）が入る、②(1)は節の中が「不完全」なので、(2)は前置詞‘of’の後に続くので、接続詞は入らない、③‘therefore’という言葉がこの文中にあるので、前の文章とのつながりを考える、という段階で答えを導き出すのがよい。このような、読解と文法的知識を上手く融合させた問題は、早稲田大学のほかの学部でも見られる特徴的な問題なので、早稲田大学に合格するためには、日ごろから、文法的知識を読解へ活かせるようにトレーニングすることが望ましい。

## 【Ⅳ】

<b>予想配点</b> 13 / 80 点	<b>時間配分の目安</b> 20 / 90 分
<b>出題内容</b> 長文 〔Word数〕502語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』共にPART2 〔長文テーマ〕文化 〔長文内容〕様々な文化における個人空間の違い	
<b>出題形式</b> 内容一致文完成・同意語句・語句整序・長文その他（省略された表現の補充）	
<b>小問別難易度</b> ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 設問1. (1)A (2)A (3)A (4)A (5)A (6)B 設問2. A 設問3. A 設問4. (イ)A (ロ)A 設問5. B	
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b> Advanced レベル	

### ●解答のポイント&学習対策等

英文のレベルとしてはやや高いが、論旨が明確であり、「個人空間」というテーマは比較的良好に目にするテーマなので、内容を読み取ることはそれほど難しくないのである。問題としては、全て標準的なものであり、基本的な英語力があれば全問正解することができる。特に、設問2から設問5は、読解問題では

# Benesse® お茶の水ゼミナール

なく文法・語法問題であり、設問2は比較、設問3は those ～:～な人々、設問4は(イ)助動詞の‘do’、(ロ)仮定法の‘would’、設問5は“make O C”、などといったように標準的な文法・語法問題なので、合格するためには落としてはならない問題であると言えるであろう。設問1の「T-F」型の内容一致完成文も、選択肢自体に細かい引っ掛けが見られないので、ちゃんと読解できていれば間違えることはないであろう。

## 【V】

<b>予想配点</b>	15 / 80 点	<b>時間配分の目安</b>	20 / 90 分
<b>出題内容</b>	長文 [Word数] 500 語 [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』共に PART 2] [長文テーマ] 経済 [長文内容] 経済成長のための精神的要因		
<b>出題形式</b>	英問英答・同意語句・英文和訳・表題		
<b>小問別難易度</b>	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 設問1. (1)A (2)A (3)A (4)B      設問2. (1)B (2)B (3)A 設問3. B      設問4. B		
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b>	Advanced レベル		

### ●解答のポイント&学習対策等

英文のレベルとしてはやや高いが、論旨が明快なので内容を読み取ることではできよう。問題は全体的にやや難しい。設問1の英問英答は、ミクロな視点とマクロな視点の両方から問われていて、読解力が試されている。設問3の英文和訳は、構文的にはそれほど難しくないが、‘over’の前置詞の訳出がポイントとなる。前文の内容が「進んで仕事をしたくない」という内容であること、さらには動詞‘value’との兼ね合いから‘over work’の部分を「仕事よりも」と訳せるかどうかのポイントになってくる。設問4のような表題(タイトル)問題というのは、「本文の最も短い要約」を示すということなので、本文の第1パラグラフから最終パラグラフまで共通して述べられている「大きなテーマ」を明確に読み取ることが重要である。今回の問題は、他の選択肢がそれほど難しくないで消去法でも答えは導き出せるが、日ごろの長文読解の学習においても、表題(タイトル)問題が問われていなくても、全体を見通す読解力の養成となるので、自ら表題(タイトル)をつける練習を重ねることを、是非ともやっておきたい。